

平成20年度成育医療研修会の開催について

成育医療の推進を目的に、標記研修会につきまして、以下要領のとおり開催することといたしましたので、お知らせします。

受講希望者は別添受講希望者登録票に記入の上、11月25日(火)までに下記連絡先まで電子メールにてご登録頂きますようお願い申し上げます。なお、希望者多数の場合は選考により、決定します。

登録締切：平成20年11月25日(火)必着

登録先： eguchi-t@ncchd.go.jp

(受講希望者登録票を添付してください)

実施要領

1. 目的

成育医療に関する最新の専門的知識・技術を習得させ、成育医療の充実を図ることを目的とする。

2. 対象者

次の要件を満たしている者。

(1) 医師コース(各専門コース別選択制)

現在、小児科、産科等に携わっている、又は今後、携わる予定・意欲のある医師

以下の専門6コースのうち、いずれか1つを選択する。

【専門コース】

救急・麻酔・集中治療 新生児科 胎児診療科
呼吸器科 不妊診療科(生殖補助技術)
小児麻酔・産科麻酔

(2) 看護コース(見学実習選択制)

臨床経験5年以上の、成育医療に携わっている、又は今後、携わる予

定のある看護師、助産師

以下の5選択コースのうち、いずれか1つを選択する。

【選択コース】

不妊・胎児・ハイリスク妊婦・無痛分娩コース

ハイリスク新生児コース 小児病棟コース

成人移行過程（思春期・青年期・キャリアオーバー含む）コース

小児救急（救急トリアージ）コース

（3）診療放射線技師コース

成育医療を担当している、又は今後、担当する予定・意欲のある診療放射線技師。

3. 期間

平成20年12月8日（月）～12月10日（水）

4. 定員

（1）医師コース 各コース 3名

（2）看護コース 45名

（3）診療放射線技師コース 5名

5. 各コース研修内容

医師コース

救急・麻酔・集中治療

集中治療科

1) ICUの概要

実地見学により、小児ICUの概要とその特徴について学ぶ。

2) 患者評価の基礎

患者の生理学的評価の基礎について、講義および実地見学により学習する。

3) 重症患者の全身管理

呼吸循環管理の基礎につき、講義および実地見学により学習する。

各種内因性疾患や外傷などによる重症患者の初期診療から全身管理までにつき、講義および実地見学により学習する。

救急診療科

1) 救急センターの運営

「小児救急患者院内トリアージ」に関する講義と実地見学により、救急外来受診患者の安全管理について学ぶ。

「搬送チームによる小児重症患者緊急搬送システム」に関する講義を通じ、重症患者の初期対応と集約化の意義について学ぶ。

2) レジデント教育のためのプログラム

「ケース・シミュレーション」にオブザーバーとして参加し、ケース・シナリオを通じて、定型化された評価手法と病態分類に基づく初期対応の重要性について学ぶ。

総合診療部・救急診療科合同カンファレンスにオブザーバーとして参加し、PBL (Problem-Based Learning) の手法について学ぶ。

3) 重症患者初期診療 Update

敗血症初期診療について、Surviving Sepsis Campaign 2008 の概要と初期診療における輸液の重要性について学ぶ。

新生児科

【新生児蘇生】

NCPRに基づく新生児蘇生の知識の整理と、分娩、蘇生の場面でどのように使われているかを学ぶ。

【感染対策】

NICUでの感染対策についての知識の整理と、現場での注意点について学ぶ。

【患者評価】

感染、呼吸、循環、神経などの血液検査、呼吸機能検査、超音波検査、脳波、MRIを用いて学ぶ。

【両親への説明】

プレネ - タルビジット、患者説明に参加する。

【他科との連携】

胎児カンファレンス、総診カンファレンス、循環器科カンファレンス、放射線カンファレンス、周産期カンファレンスに参加して、出生前から、退院、転棟までの他科との連携について学ぶ

胎児診療科

出生前診断と胎児治療に関する知識と技術に関して講義および臨床見学により学ぶ。

【出生前診断】

羊水検査、絨毛検査、臍帯血穿刺の実際
超音波診断法（スクリーニング、精査）
胎児MRI、胎児CT
出生前診断症例のカウンセリングの実際

【胎児治療】

胎児鏡下レーザー治療
ラジオ波血流遮断術(RFA)
シャント留置術
などの胎児治療についての講義または見学

呼吸器科

【必修項目】

- ・診療の見学（入院・外来）
- ・胸部単純X線写真の基本的な読影法（講義）

【選択項目】

- ・主な症状の鑑別法（講義）
 - ・主な疾患の画像診断（講義）
 - ・内視鏡検査の見学（喉頭・気管支）
 - ・珍しい症例の解説
- 内容についての希望があれば出来るだけ対応します

不妊診療科（生殖補助技術）

一般不妊検査、治療、生殖補助医療の治療の見学または、研修者が少ない場合は、実際の手技を練習してもらうことも可能です。
内容についての希望があれば出来るだけ対応します

小児麻酔・産科麻酔

小児麻酔：講義やディスカッションおよび見学をとおして知識を深めていただく。

小児麻酔一般の見学

小児ICUの見学

小児挿管困難に対するアプローチ

手術室の外での麻酔および小児鎮静の考えかた

小児循環管理

産科麻酔：安全で快適な分娩を提供するために必要な産科麻酔の実践的方法について理解を深めていただく
帝王切開の麻酔について（講義および見学）
無痛分娩（講義および見学）
産科麻酔科医の役割（講義および見学）

看護コース

選択コース 不妊・胎児・ハイリスク妊婦・無痛分娩コース

- ・不妊治療と看護について
- ・胎児治療と看護について
- ・無痛分娩と看護について

選択コース ハイリスク新生児コース

- ・ハイリスク新生児医療について
- ・成育の NICU 看護
- ・胎児治療と看護について
- ・NICU のスタッフ教育について

選択コース 小児病棟コース

- ・在宅移行、外来との連携、地域との連携
- ・保育士、チャイルドライフスペシャリストとの連携
- ・NICU 離脱患者の成長発達と看護師の関わり
- ・小児がんの化学療法と看護

選択コース 成人移行過程（思春期・青年期・キャリアオーバー含む）コース

- ・成育のこころの診療部について
- ・思春期のこころの発達と家族関係
- ・思春期とは、思春期医学、摂食障害
- ・成育における思春期看護
- ・キャリアオーバー患者の看護
- ・外科疾患患者のキャリアオーバーについて

選択コース 小児救急（救急トリアージ）コース

- ・小児救急医療の現状について
- ・小児救急医療を受ける子どもと家族の看護、事故防止プログラムについて

* 各コース（ ～ ）共通に見学実習・意見交換会を計画しています。

診療放射線技師コース

- ・小児救急画像診断 ・放射線医が考える医療被ばく ・胎児画像診断
- ・病院情報システムの概要 ・小児核医学
- ・今後の放射線治療および検査 ・各モダリティにおける小児撮影技術

6．研修にかかる費用（受託研修費）について

医師コース 5,250 円、看護コースと診療放射線技師コースは 3,150 円の受託研修費用を請求させていただきます。

研修開始後、納入告知書（請求書）を施設あてに送付させていただきます。
（銀行等でお支払いできる請求書です）

7．受講決定通知

- ・ 11月27日（木）に、受講決定の通知を発送いたします。
（同時に電子メールでもお知らせいたします）

8．受託実習申込書（受講決定後）

受講が決定された方は、別添「受託実習申込書」に所属所長の公印を押印のうえ研修開始までに下記までご送付下さい。

<送付先>

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1 国立成育医療センター研修係

9．その他

- ・ 宿泊の手配は各自でお願いします。
- ・ 交通費・宿泊費は各自の負担でお願いします。
- ・ 持ち物等その他詳細については、後日、受講決定者あて連絡します。

研修実施場所及び研修内容に関する問い合わせ先

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2 - 10 - 1

国立成育医療センター 担当 政策医療企画課研修係長

E-mail : eguchi-t@ncchd.go.jp

TEL 03 - 3416 - 0181 (内線5123)